

2025年2月28日

加納東自治会連合会第13支部

自治会員 各位

加納東自主防災団第13分団

分団長 西尾 憲二

今後の防災活動（在宅避難の課題）について

岐阜市は南海トラフを想定した災害被害想定調査を令和2年度実施しました。

加納の建物被害率 30.8%、人的被害率 1.5%（昼間人口 7,201人 要救助者数 41人 避難者数 852人）という数字データを岐阜市ホームページで公開しています。（<https://www.city.gifu.lg.jp/kurashi/bousai/1001411/1001415.html>）

今後の安否確認及び防災活動については、在宅避難を念頭に活動を各自治会が行っていかねばなりません。しかしながら予算や防災人材のいない各自治会では、できないことがあります。

自主防災団（防災士・岐阜市補助事業）と自治会連合会（非常用災害対策費）がしなければならないことを以下に列記します。

記

- 1 支部ごとに防災倉庫の設置（備品及び備蓄食料等）
- 2 散水栓設置場所の確認（散水栓放水訓練の実施）
- 3 加納地域家屋の耐震調査実施
- 4 用避難支援者の避難計画（岐阜市から民生委員及び写経に依頼済み）
- 5 液状化調査（リスクに対する対策）

建物被害
南海トラフ地震

地域区分Ⅱ	建物被害										合計 (棟)	建物被害 率 (%)
	地域内 全棟数	全壊				半壊						
		木造		非木造		木造		非木造				
揺れ	液状化	揺れ	液状化	揺れ	液状化	揺れ	液状化	揺れ	液状化			
金華	2,699	169	0	10	1	478	0	37	1	697	25.8	
京町	2,583	139	6	10	9	417	8	41	12	642	24.8	
明德	1,993	85	11	15	30	237	14	52	39	483	24.2	
徹明	2,402	140	6	29	19	361	7	95	24	682	28.4	
梅林	3,088	233	23	27	40	518	31	80	52	1,003	32.5	
白山	2,778	171	16	22	30	433	23	71	39	804	28.9	
華陽	2,322	165	23	12	22	413	35	37	29	736	31.7	
本郷	2,992	159	13	13	16	477	19	47	20	763	25.5	
木之本	2,570	151	9	16	15	437	14	55	20	718	27.9	
本荘	4,579	201	29	25	46	651	48	82	59	1,141	24.9	
日野	3,371	133	3	11	2	465	4	38	2	658	19.5	
長良	2,925	180	8	12	8	557	13	40	10	828	28.3	
長良西	4,798	219	20	19	22	757	35	65	28	1,166	24.3	
長良東	4,462	193	6	15	5	692	10	51	7	978	21.9	
島	4,977	157	19	15	24	555	34	52	32	889	17.9	
早田	3,302	154	3	20	5	512	5	66	6	770	23.3	
城西	3,283	149	3	11	3	543	6	39	3	757	23.1	
三里	4,847	174	48	29	92	513	82	92	120	1,150	23.7	
鷺山	4,775	250	16	17	18	839	28	56	23	1,247	26.1	
加納	3,498	206	45	16	48	577	68	53	63	1,077	30.8	
加納西	3,302	164	40	16	51	494	61	54	66	945	28.6	
則武	3,826	160	10	12	8	577	17	40	10	834	21.8	
常盤	3,310	139	19	10	19	486	32	35	24	764	23.1	
長森南	5,924	281	76	21	73	856	129	69	95	1,601	27.0	
長森北	3,018	105	11	8	11	413	18	31	15	614	20.3	
長森西	3,413	162	26	18	36	456	46	55	47	845	24.8	
長森東	3,314	104	8	9	9	414	15	31	12	602	18.2	
木田	1,778	177	5	11	4	372	9	30	6	613	34.5	
岩野田	3,438	152	12	10	9	593	21	34	12	842	24.5	
岩野田北	3,267	98	15	8	13	398	28	29	17	605	18.5	
黒野	6,384	216	9	16	12	921	16	61	16	1,267	19.8	
方県	1,939	80	4	6	6	236	6	21	8	367	19.0	
西部	4,825	154	53	24	78	510	93	75	102	1,089	22.6	
鶉	4,857	141	55	21	73	503	98	66	95	1,052	21.7	
西郷	3,908	157	9	7	6	529	17	25	8	759	19.4	
七郷	4,840	281	17	17	14	772	31	53	18	1,204	24.9	
市橋	5,077	205	51	26	92	556	90	81	120	1,221	24.0	
岩	2,586	133	12	11	12	447	19	36	16	687	26.6	
鏡島	5,155	329	65	19	57	865	114	59	74	1,581	30.7	
厚見	6,367	294	78	30	86	930	133	95	112	1,758	27.6	
日置江	2,427	107	29	11	36	314	48	36	47	628	25.9	
芥見	4,020	184	17	15	16	657	29	50	21	990	24.6	
藍川	2,991	84	12	6	13	412	20	24	16	587	19.6	
芥見東	2,273	73	1	8	1	357	2	28	2	473	20.8	
芥見南	1,065	26	0	3	1	136	1	11	1	179	16.8	
合渡	2,856	126	21	12	29	359	38	39	38	661	23.2	
三輪南	5,113	154	1	11	1	637	1	43	1	849	16.6	
三輪北	2,053	135	0	14	0	331	0	42	0	521	25.4	
網代	1,578	52	2	3	5	175	4	12	7	261	16.5	
柳津	6,585	234	78	30	97	753	132	96	126	1,544	23.5	
合計	179,733	8,134	1,042	757	1,322	25,890	1,752	2,509	1,724	43,129		

※メッシュ単位での値を使用しているため、項目ごとの集計値と合計値が合わない場合がある

人的被害
南海トラフ地震

地域区分Ⅱ	人的被害							
	夜間人口 (人)	午前5時						
		死者	負傷者	重傷者	合計 (人)	被害率 (%)	要救助者数	避難者数
金華	4,706	8	62	9	79	1.7	28	434
京町	4,236	7	48	7	61	1.4	21	368
明德	3,401	4	28	5	36	1.1	16	311
徹明	4,879	6	53	10	68	1.4	36	526
梅林	6,362	11	79	15	105	1.7	50	844
白山	6,488	8	73	13	94	1.4	42	735
華陽	6,209	8	82	13	102	1.7	42	744
本郷	6,019	7	67	9	84	1.4	29	542
木之本	5,624	7	65	10	82	1.5	32	563
本荘	11,345	10	114	15	139	1.2	53	1,000
日野	7,740	7	73	9	89	1.2	31	471
長良	6,832	9	92	12	113	1.7	40	668
長良西	12,708	11	141	17	170	1.3	59	1,042
長良東	10,757	10	114	13	137	1.3	47	736
島	12,064	8	92	11	111	0.9	39	721
早田	9,271	7	98	13	119	1.3	46	714
城西	7,922	8	91	11	110	1.4	36	584
三里	13,353	9	111	16	135	1.0	62	1,239
鷺山	10,702	13	130	16	159	1.5	55	930
加納	7,201	10	89	13	111	1.5	41	852
加納西	7,837	8	85	12	105	1.3	40	848
則武	8,763	8	93	11	113	1.3	37	618
常盤	6,579	7	66	8	81	1.2	27	501
長森南	13,691	15	150	19	184	1.3	66	1,380
長森北	6,858	5	63	7	76	1.1	23	440
長森西	8,112	8	78	12	98	1.2	41	744
長森東	7,292	5	63	7	75	1.0	23	415
木田	3,168	9	44	9	63	2.0	32	451
岩野田	7,458	8	88	9	105	1.4	33	566
岩野田北	7,884	5	65	7	77	1.0	24	462
黒野	14,694	11	138	14	163	1.1	50	845
方県	2,679	4	20	3	27	1.0	12	173
茜部	12,908	8	101	13	122	0.9	53	1,092
鶉	11,785	7	91	11	109	0.9	43	937
西郷	8,505	9	77	10	95	1.1	34	544
七郷	11,098	15	121	19	155	1.4	67	1,020
市橋	14,130	10	117	17	144	1.0	66	1,316
岩	4,955	7	59	7	74	1.5	27	439
鏡島	12,786	17	162	23	202	1.6	79	1,485
厚見	14,137	15	155	20	190	1.3	72	1,439
日置江	4,743	6	45	7	57	1.2	24	474
芥見	8,034	10	93	11	113	1.4	38	649
藍川	6,323	4	57	5	67	1.1	19	360
芥見東	6,250	4	64	6	74	1.2	22	360
芥見南	3,080	1	26	2	30	1.0	9	143
合渡	6,482	6	52	7	66	1.0	27	521
三輪南	9,424	8	81	8	97	1.0	30	461
三輪北	2,599	7	28	5	40	1.5	19	251
網代	2,627	3	16	2	21	0.8	8	120
柳津	13,676	12	119	15	147	1.1	58	1,196
合計	406,379	412	4,118	543	5,074	1.2	1,908	34,275

※メッシュ単位での値を使用しているため、項目ごとの集計値と合計値が合わない場合がある

人的被害
南海トラフ地震

地域区分Ⅱ	人的被害							
	昼間人口 (人)	昼12時						
		死者	負傷者	重傷者	合計 (人)	被害率 (%)	要救助者数	避難者数
金華	5,431	3	27	7	37	0.7	14	434
京町	5,797	3	25	6	35	0.6	14	368
明德	9,650	4	34	9	46	0.5	26	311
徹明	15,740	6	74	19	99	0.6	68	526
梅林	7,419	5	37	11	52	0.7	28	844
白山	11,236	5	49	13	67	0.6	38	735
華陽	6,161	3	30	8	40	0.7	20	744
本郷	7,435	4	33	8	45	0.6	18	542
木之本	6,788	3	31	8	41	0.6	20	563
本荘	11,744	4	49	11	65	0.6	29	1,000
日野	5,265	2	19	4	25	0.5	10	471
長良	7,345	3	37	9	49	0.7	19	668
長良西	10,039	3	43	9	55	0.6	22	1,042
長良東	8,385	2	31	6	40	0.5	16	736
島	8,672	2	25	5	32	0.4	13	721
早田	9,837	3	41	9	53	0.5	25	714
城西	5,517	2	24	5	31	0.6	12	584
三里	17,519	4	55	12	71	0.4	43	1,239
鷺山	11,699	5	51	11	67	0.6	26	930
加納	7,806	4	37	9	50	0.6	21	852
加納西	9,377	3	39	9	51	0.5	24	848
則武	7,281	3	30	6	39	0.5	14	618
常盤	3,967	1	14	3	19	0.5	7	501
長森南	9,771	4	40	9	53	0.5	22	1,380
長森北	7,848	2	28	5	35	0.5	12	440
長森西	7,920	2	28	6	36	0.5	18	744
長森東	5,430	2	18	3	23	0.4	9	415
木田	1,912	2	10	4	16	0.8	9	451
岩野田	5,631	2	25	4	31	0.6	11	566
岩野田北	5,291	1	18	3	22	0.4	8	462
黒野	22,344	4	49	8	61	0.3	29	845
方県	1,729	1	5	1	8	0.5	4	173
茜部	13,657	3	43	9	55	0.4	32	1,092
鶉	15,139	4	49	10	62	0.4	38	937
西郷	5,429	2	18	4	24	0.4	9	544
七郷	8,066	4	35	9	48	0.6	21	1,020
市橋	19,470	5	62	14	80	0.4	48	1,316
岩	3,622	2	16	4	22	0.6	9	439
鏡島	9,910	4	45	11	60	0.6	25	1,485
厚見	13,918	5	56	12	73	0.5	36	1,439
日置江	5,528	2	21	5	28	0.5	15	474
芥見	6,440	3	27	5	35	0.5	14	649
藍川	3,708	1	13	2	16	0.4	5	360
芥見東	4,764	1	18	3	22	0.5	9	360
芥見南	2,620	1	9	1	11	0.4	4	143
合渡	5,876	2	17	4	23	0.4	11	521
三輪南	8,014	2	25	4	31	0.4	13	461
三輪北	2,159	2	9	3	14	0.6	8	251
網代	2,547	1	5	1	7	0.3	3	120
柳津	20,429	12	69	14	96	0.5	62	1,196
合計	419,279	153	1,594	354	2,100	0.5	1,012	34,275

※メッシュ単位での値を使用しているため、項目ごとの集計値と合計値が合わない場合がある

人的被害
南海トラフ地震

地域区分Ⅱ	人的被害							
	昼間人口 (人)	夕方6時						
		死者	負傷者	重傷者	合計 (人)	被害率 (%)	要救助者数	避難者数
金華	5,431	7	52	9	68	1.3	25	434
京町	5,797	7	49	8	63	1.1	23	368
明德	9,650	8	60	11	79	0.8	39	311
徹明	15,740	12	125	26	162	1.0	98	526
梅林	7,419	9	67	15	91	1.2	45	844
白山	11,236	9	88	18	115	1.0	57	735
華陽	6,161	5	56	11	72	1.2	33	744
本郷	7,435	7	64	11	82	1.1	30	542
木之本	6,788	6	57	10	73	1.1	31	563
本荘	11,744	8	94	15	117	1.0	47	1,000
日野	5,265	3	37	5	46	0.9	17	471
長良	7,345	7	73	12	91	1.2	33	668
長良西	10,039	7	84	12	102	1.0	37	1,042
長良東	8,385	5	61	8	74	0.9	27	736
島	8,672	4	48	7	58	0.7	21	721
早田	9,837	6	77	12	95	1.0	39	714
城西	5,517	4	48	7	58	1.1	20	584
三里	17,519	8	101	16	125	0.7	64	1,239
鷺山	11,699	10	100	15	125	1.1	44	930
加納	7,806	8	72	12	93	1.2	35	852
加納西	9,377	6	73	12	92	1.0	39	848
則武	7,281	5	59	8	72	1.0	25	618
常盤	3,967	3	28	4	35	0.9	12	501
長森南	9,771	8	78	12	98	1.0	38	1,380
長森北	7,848	5	54	7	66	0.8	21	440
長森西	7,920	5	52	9	66	0.8	28	744
長森東	5,430	3	36	5	44	0.8	14	415
木田	1,912	4	20	5	29	1.5	15	451
岩野田	5,631	4	48	6	59	1.0	19	566
岩野田北	5,291	3	35	4	42	0.8	13	462
黒野	22,344	8	91	11	109	0.5	45	845
方県	1,729	2	10	2	14	0.8	7	173
茜部	13,657	6	78	12	96	0.7	48	1,092
鶉	15,139	8	88	13	109	0.7	58	937
西郷	5,429	4	36	6	45	0.8	17	544
七郷	8,066	8	68	12	89	1.1	37	1,020
市橋	19,470	10	112	19	141	0.7	74	1,316
岩	3,622	4	32	5	40	1.1	15	439
鏡島	9,910	9	88	15	111	1.1	44	1,485
厚見	13,918	10	105	16	131	0.9	57	1,439
日置江	5,528	5	39	7	50	0.9	23	474
芥見	6,440	5	52	7	65	1.0	23	649
藍川	3,708	2	25	3	30	0.8	9	360
芥見東	4,764	2	35	4	41	0.9	14	360
芥見南	2,620	1	17	2	20	0.8	6	143
合渡	5,876	4	33	5	42	0.7	18	521
三輪南	8,014	5	47	5	57	0.7	21	461
三輪北	2,159	4	17	4	24	1.1	13	251
網代	2,547	2	10	1	12	0.5	5	120
柳津	20,429	23	124	19	166	0.8	92	1,196
合計	419,279	308	3,000	478	3,785	0.9	1,614	34,275

※メッシュ単位での値を使用しているため、項目ごとの集計値と合計値が合わない場合がある

災害被害想定調査

調査概要

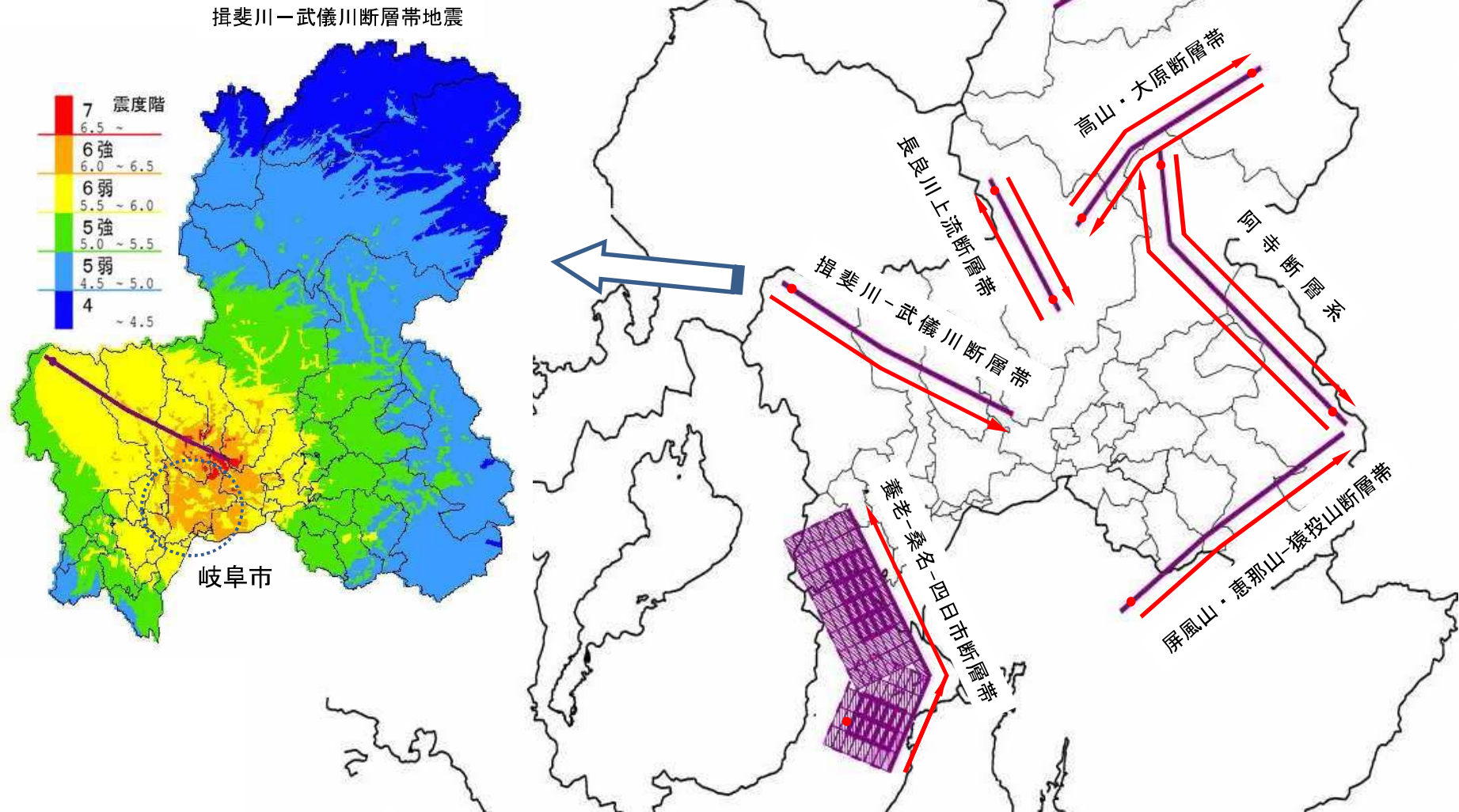
令和2年12月

背景

【岐阜県の実施】

岐阜県内の主要活断層の中で、想定地震を新たに選定するとともに断層の破壊伝搬方向により影響を受ける地域が異なることに着目し、岐阜県内の各市町村にとって最悪の地震像を明確にした。

これにより、岐阜市での被害想定するべき地震像が揖斐川-武儀川断層帯地震であることが明らかになった。



今回の調査概要

【目的】

平成24年度に南海トラフ巨大地震、養老-桑名-四日市断層帯の地震の被害想定調査を実施し、建物被害等の予測を行ったところである。

その後年月の経過とともに、**建物、人口の状況変化および新たに本市に影響が最大となる内陸直下型地震の存在が早から明らかにされた**ため、地震被害想定の見直しを行い、結果を市の防災対策に反映することを目的とする。

【被害想定の変更点】

人的被害予測および建物被害予測に現在の岐阜市の状況を反映するために、人口と住宅の情報を更新した。

また、ライフライン被害予測についても上水道網、下水道網の情報を更新した。

想定地震

前回(平成24年度)調査において対象とした南海トラフの巨大地震、養老-桑名-四日市断層帯地震に加え、岐阜市に甚大な被害が予想される揖斐川-武儀川断層帯地震を加えた3地震を対象とした。

ただし、南海トラフの巨大地震については、想定外をなくすため、震源域を最大限に拡大したモデルであることから、必ずしも想定される規模で地震が発生するものではない。

タイプ	想定地震
海溝型地震	南海トラフの巨大地震
内陸直下型地震	養老-桑名-四日市断層帯地震
	揖斐川-武儀川断層帯地震

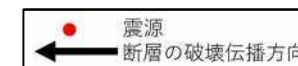
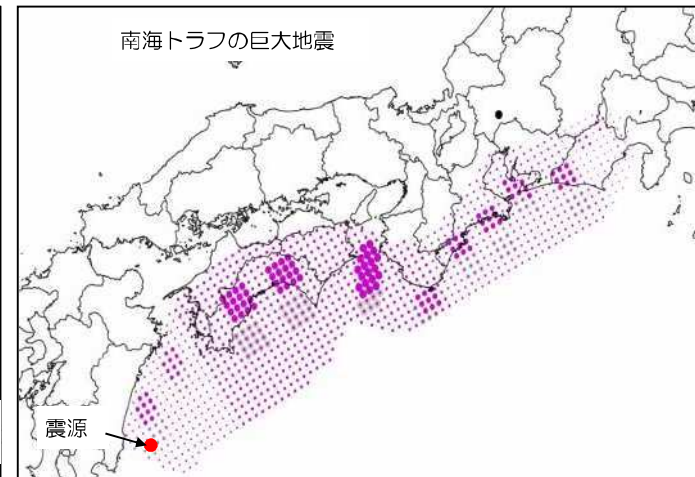
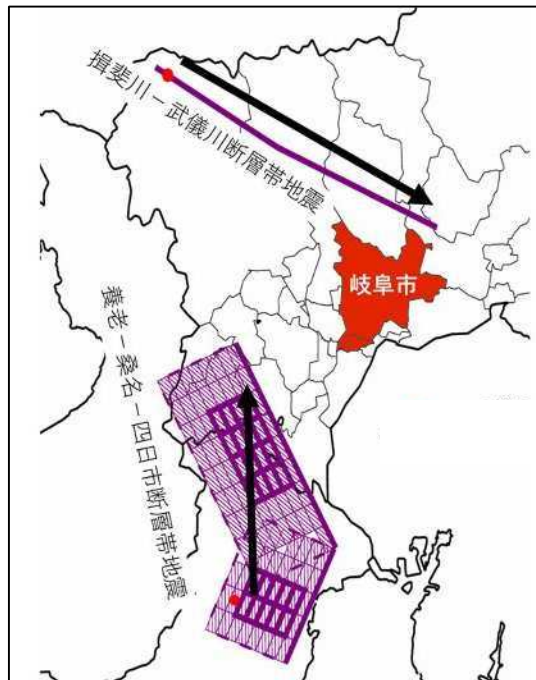
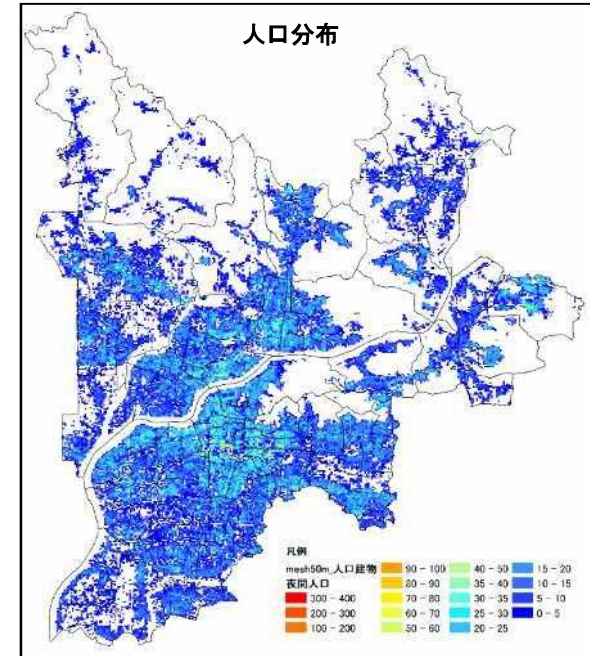
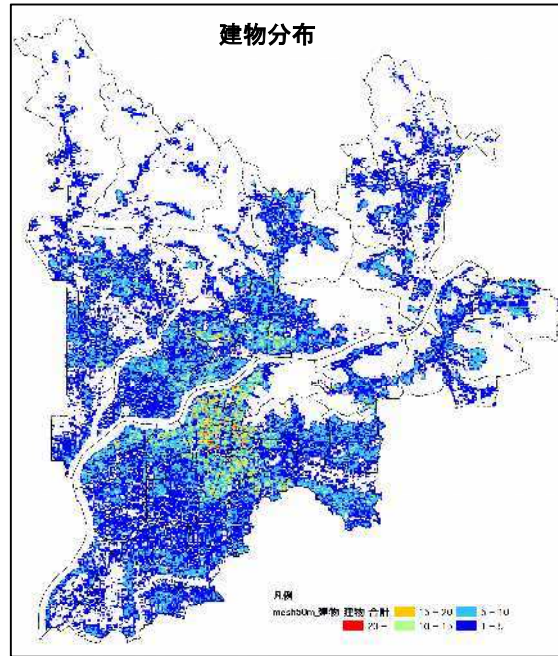
地震の発生確率

地震調査研究推進本部の長期評価は、30年以内の発生確率を示している。

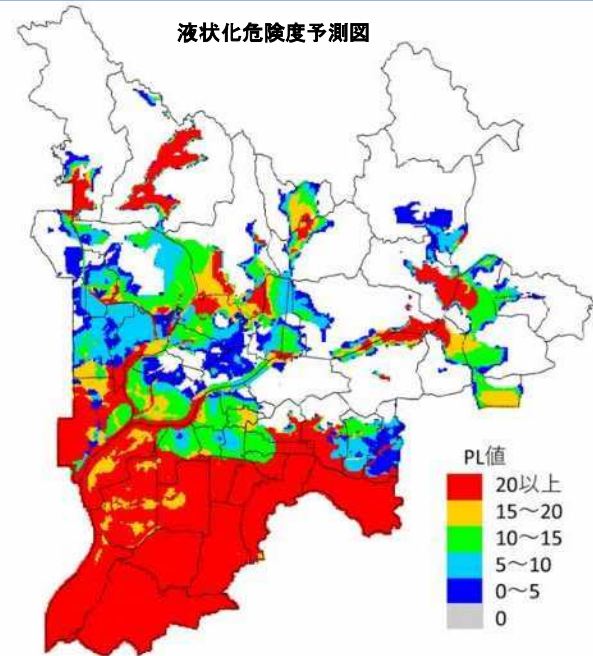
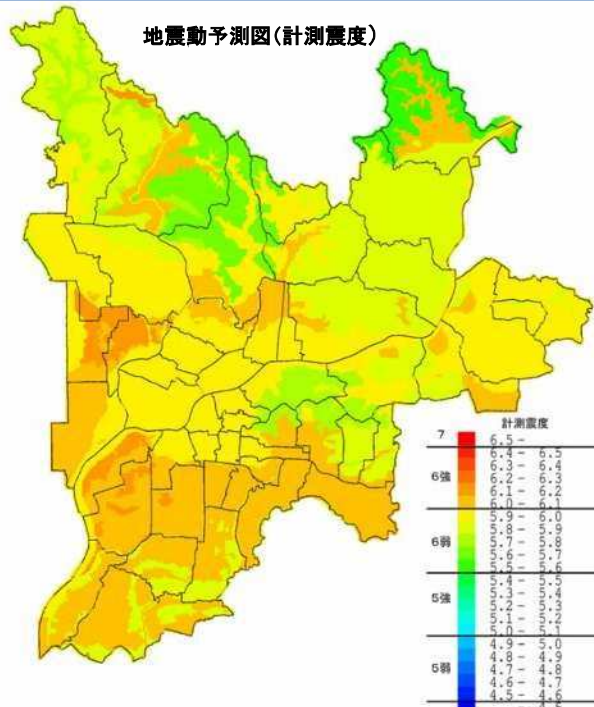
想定地震の発生確率は、南海トラフの巨大地震が73.4%と最も切迫している。養老-桑名-四日市断層帯地震は、ほぼ0%である。今回追加した揖斐川-武儀川断層帯地震は、0.33~0.39%とされている。

想定地震	30年発生確率 (%)
南海トラフの巨大地震	73.4
養老-桑名-四日市断層帯地震	0
揖斐川-武儀川断層帯地震	0.39 (揖斐川断層)
	0.33 (武儀川断層)

出典：地震調査研究推進本部



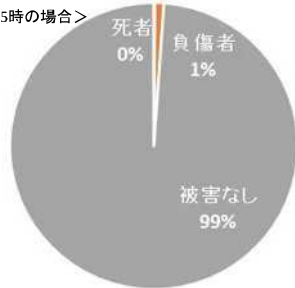
南海トラフの巨大地震 被害想定結果



・人的被害

内閣府の手法により建物被害量から算出

<午前5時の場合>



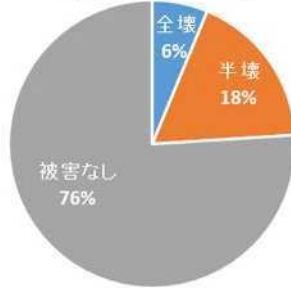
夜間人口総計
約406,400人

	午前5時	昼12時	夕方6時
死者数	412	153	308
重傷者数	543	354	478
負傷者数	4,118	1,594	3,000

重傷者は負傷者の内数

・建物被害

内閣府の手法により算出



建物棟数総計
約179,700棟

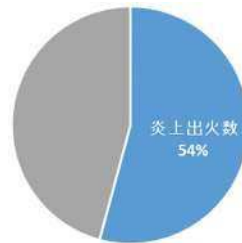
	全壊棟数	半壊棟数
木造	9,176	27,642
非木造	2,079	4,232
合計	11,255	31,874

・火災被害

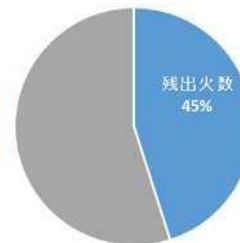
内閣府の手法により算出

<夕方6時の場合>

<総出火件数に対する割合>
総出火件数55件中



<総出火件数に対する割合>
総出火件数55件中

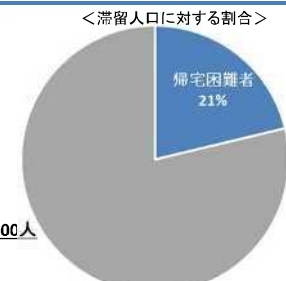


	午前5時	昼12時	夕方6時
総出火件数	17	20	55
炎上出火件数	9	11	30
残出火件数	4	6	25
焼失棟数	33	50	293

・帰宅困難者数

岐阜市内に滞留する人口
(中京都市圏バーソートリフ調査から算出)

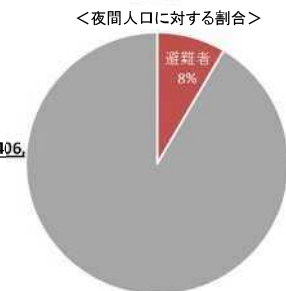
約7,500人 / 滞留人口35,200人



・避難者数

内閣府の手法により
建物被害量から算出

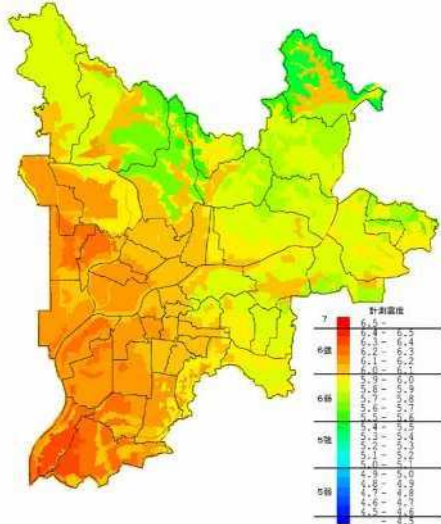
約34,300人 / 夜間人口約406,400人



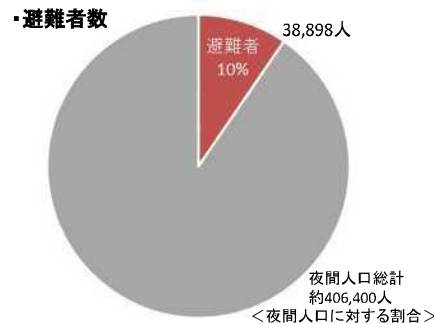
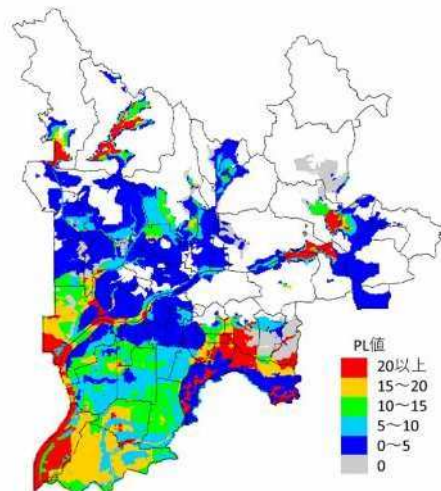
参考)内陸直下型地震 被害想定結果

養老一桑名一四日市断層帯地震

地震動予測図(計測震度)



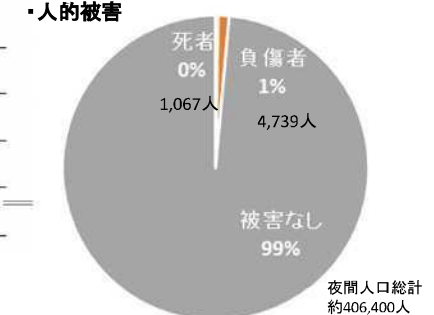
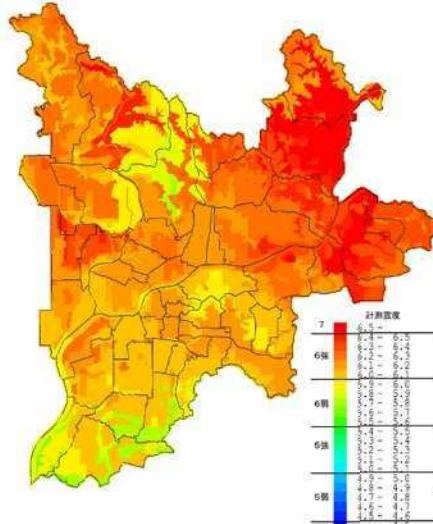
液状化危険度予測図



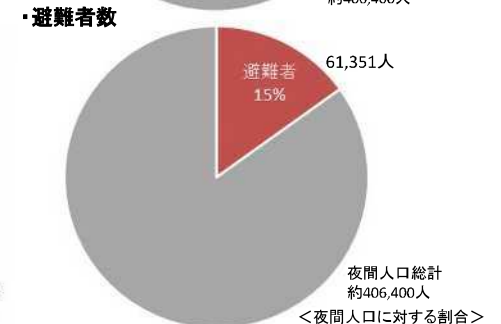
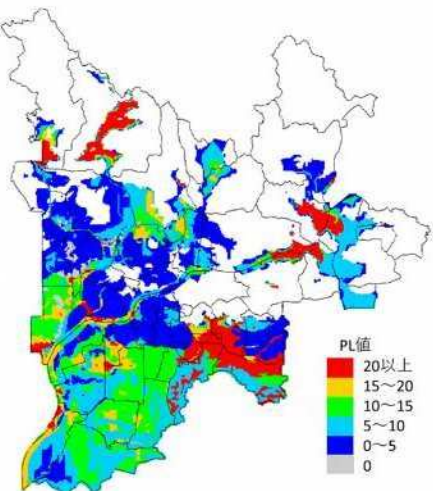
- ・ 建物被害率や人的被害率は、南海トラフの結果に近い。
- ・ 岐阜市南部の震度が高いが、地震動の継続時間が短いため、南部の液状化の危険度が南海トラフよりも低い。
- ・ 避難者数は、南海トラフに比べて若干多くなる。(避難者数:約38,900人)

揖斐川一武儀川(濃尾)断層帯地震

地震動予測図(計測震度)



液状化危険度予測図

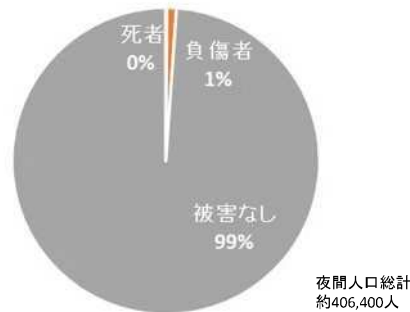


- ・ 建物被害率は、南海トラフや養老一桑名一四日市の結果に比べて多い。
- ・ 人的被害はほぼ同等となる。
- ・ 理由として、岐阜市の北東部の震度が高いが、人口が少ない地域のため、建物被害は多いが人的被害が少なくなっていると考えられる
- ・ 避難者数は、最も多くなる。(避難者数:約61,400人)

南海トラフの巨大地震 これまでの被害想定結果との比較

・人的被害

内閣府の手法により建物被害量から算出



	午前5時	昼12時	夕方6時
死者数	412	153	308
重傷者数	543	354	478
負傷者数	4,118	1,594	3,000

・建物被害

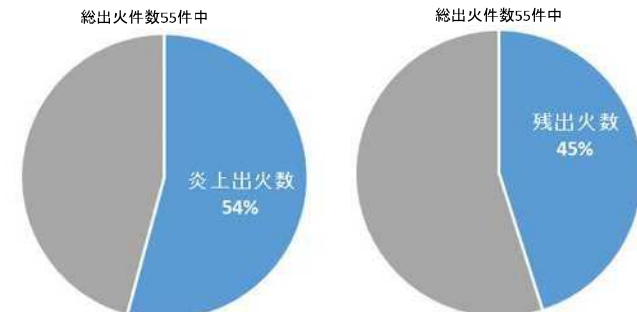
内閣府の手法により算出



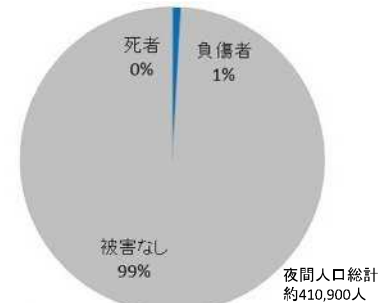
	全壊棟数	半壊棟数
木造	9,176	27,642
非木造	2,079	4,232
合計	11,255	31,874

・火災被害

内閣府の手法により算出

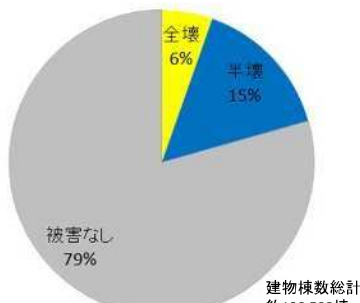


	午前5時	昼12時	夕方6時
総出火件数	17	20	55
炎上出火件数	9	11	30
残出火件数	4	6	25
焼失棟数	33	50	293

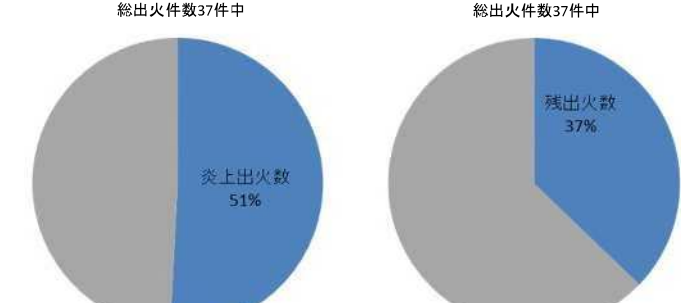


【参考: 前回】

	午前5時	昼12時	夕方6時
死者数	257	96	194
重傷者数	457	298	402
負傷者数	3,492	1,323	2,507



	全壊棟数	半壊棟数
木造	6,081	18,264
非木造	1,402	2,795
合計	7,483	21,059



	午前5時	昼12時	夕方6時
総出火件数	11	14	37
炎上出火件数	6	7	19
残出火件数	1	2	14
焼失棟数	6	11	105

- ・ 人口情報と建物情報を更新したため、絶対値が変動しているため、被害量は変動している。
- ・ 人的被害や建物被害の全体に占める割合で比較すると、前回の調査と今回の調査結果は同等の傾向である。
- ・ 今回調査の結果は、増加傾向にあるが、建物棟数の増加が主に影響していると思われる
- ・ 今回の建物棟数は、約179,700棟 となっており、市税概要の家屋の概要にある評価総棟数は約174,000であるため、妥当と判断した。(前回は138,500棟)
- ・ そのため、建物被害や火災被害については増加しているが、現在の状況を反映した値であると考え。

南海トラフの巨大地震 これまでの被害想定結果との比較

・帰宅困難者数

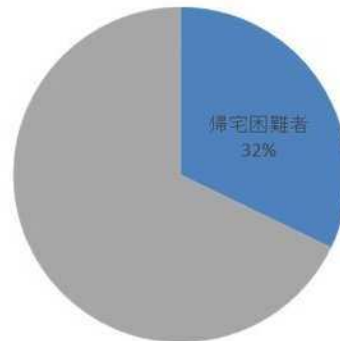
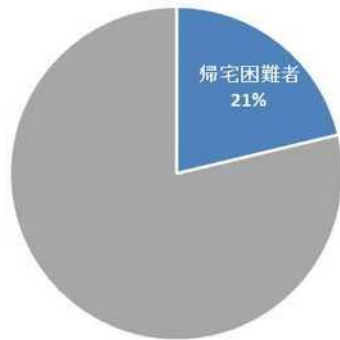
岐阜市内に滞留する人口(中京都市圏パーソントリップ調査から算出)

約7,500人

滞留人口35,200人中

【参考:前回】 **約11,800人**

滞留人口36,600人中

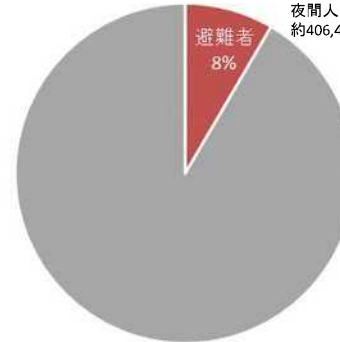


・避難者数

内閣府の手法により建物被害量から算出

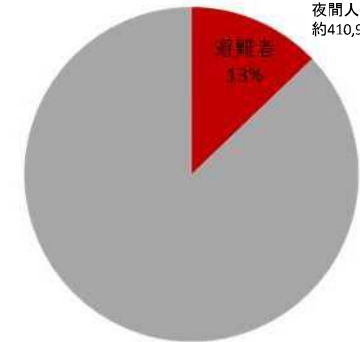
約34,300人

夜間人口総計
約406,400人

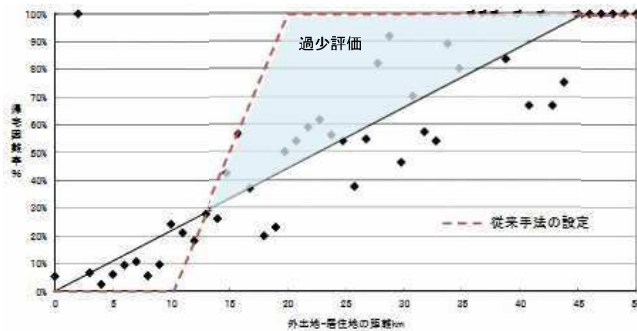


【参考:前回】 **約53,000人**

夜間人口総計
約410,900人



- ・ 帰宅困難者の予測は、帰宅距離と帰宅困難率の関係を最新の内閣府手法に見直し、パーソントリップの情報を更新した。
- ・ 新しい関係式では、前回よりも少なく評価される傾向となる



- ・ 避難者の予測は、最新の内閣府手法が見直し、人口と建物情報を更新した。
- ・ 新しい関係式では、半壊の避難者の関係が調整されており、前回よりも少なく評価される傾向となった

【今回】

$$\text{全避難者数} = (\text{全壊棟数} + 0.13 \times \text{半壊棟数}) \times 1 \text{棟当たり平均人員} + \text{断水人口} \times \text{断水時生活困窮度}$$

※1:断水人口は、自宅建物被害を原因とする避難者を除く断水世帯人員を示す。

※2:断水時生活困窮度とは、自宅建物は大きな損傷をしていないが、断水が継続されることにより自宅での生活し続けることが困難となる割合を意味する。時間とともに数値は大きくなる。阪神・淡路大震災の事例によると、水が手に入れば自宅の被害がひどくない限りは自宅で生活しているし、半壊の人でも水道が復旧すると避難所から自宅に帰っており、逆に断水の場合には生活困窮度が増す。

(当日・1日後)0.0 ⇒ (1週間後)0.25 ⇒ (1ヶ月後)0.90

・ 阪神・淡路大震災の実績及び南海トラフ巨大地震による被害の基天性・広域性を考慮して、発災当日・1日後、1週間後、1ヶ月後の避難所避難者と避難所外避難者の割合を以下のように想定 (避難所避難者:避難所外避難者)

(当日・1日後)60:40 ⇒ (1週間後)50:50 ⇒ (1ヶ月後)30:70

【前回】

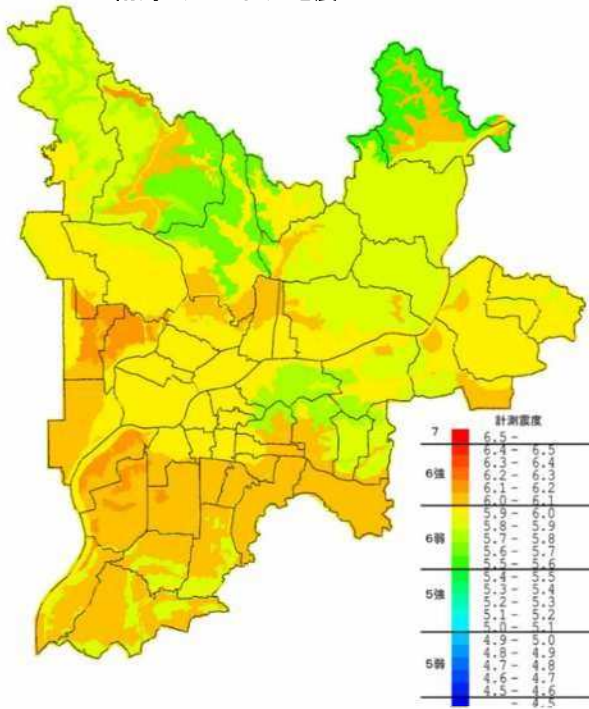
・ 室崎ら(1996)による神戸市内震度7地域の住民へのアンケート調査より、自宅被害の有無と翌日の避難場所は下表のように示される。

・ これより、翌日避難する人は、「全壊」住宅で100%、「半壊」住宅で50.3%とする。

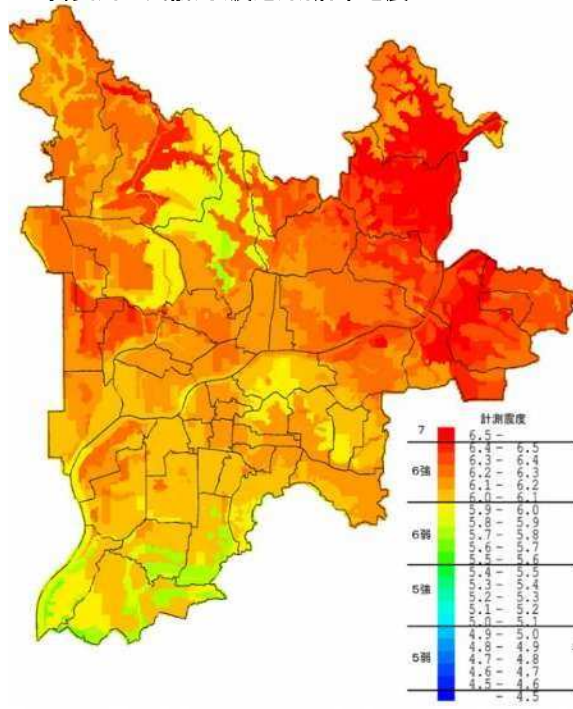
		避難した		避難しなかった	合計
		避難所	親戚等疎開		
全壊	712 (100.0%)	443 (62.2%)	269 (37.8%)	0 (0.0%)	712 (100%)
半壊	362 (50.3%)	237 (33.0%)	125 (17.4%)	357 (49.7%)	719 (100%)
軽微,被害なし	269 (36.2%)	183 (24.6%)	86 (11.6%)	475 (63.8%)	744 (100%)

計測震度の比較

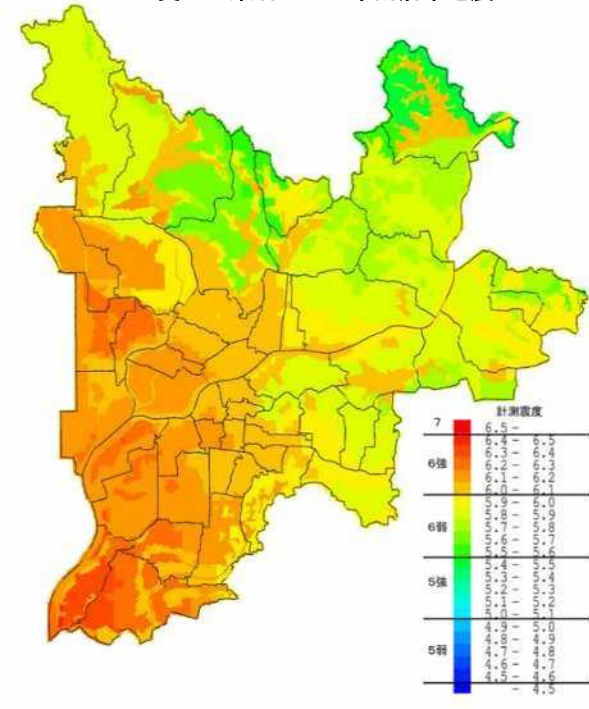
南海トラフの巨大地震



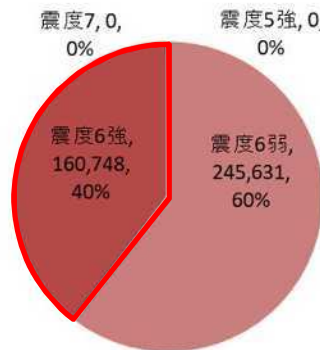
揖斐川-武儀川(濃尾)断層帯地震



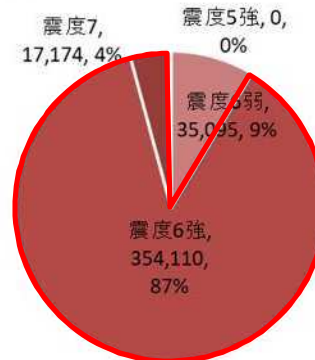
養老-桑名-四日市断層帯地震



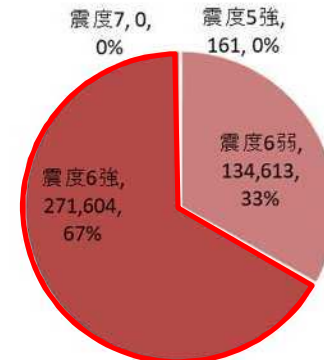
震度別の夜間人口の割合



震度別の夜間人口の割合

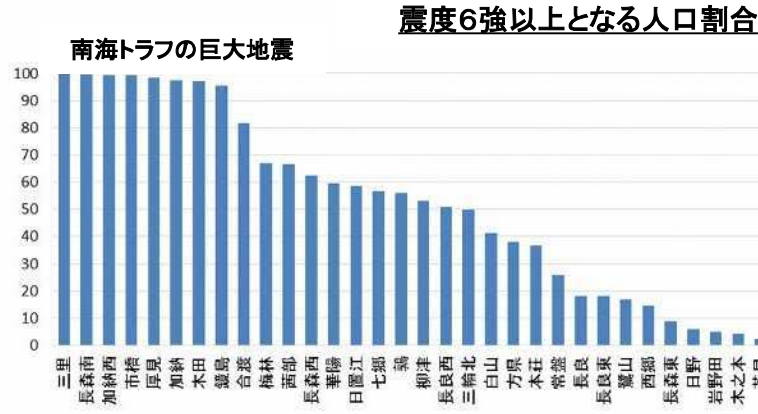
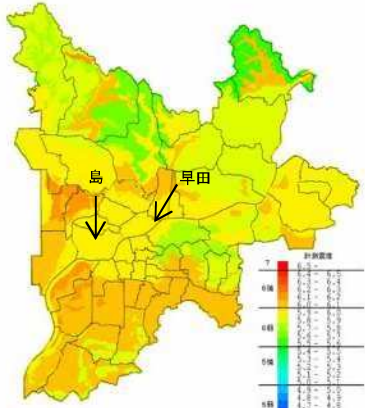


震度別の夜間人口の割合

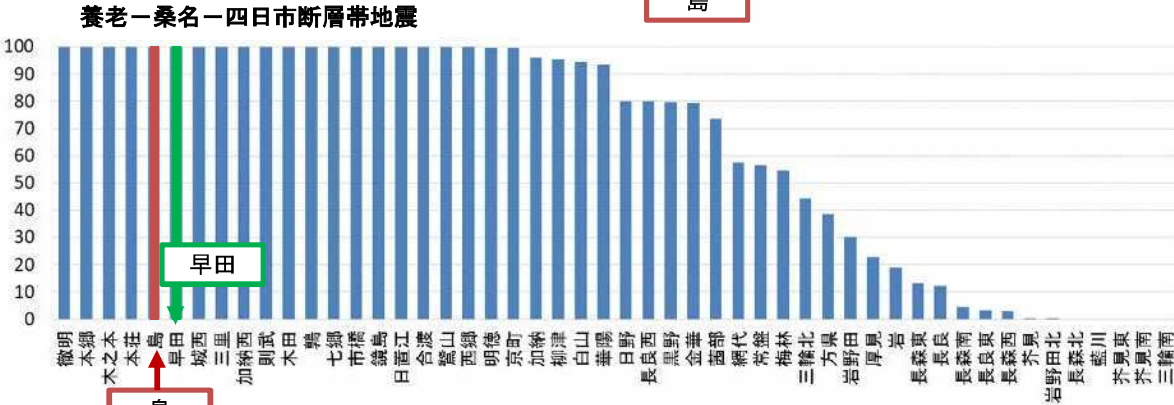
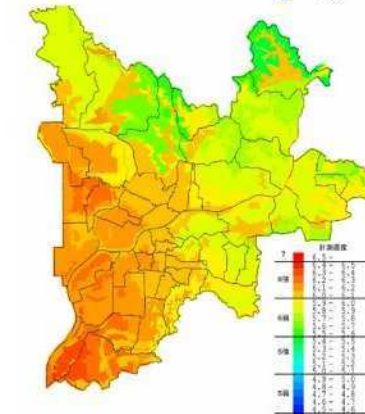
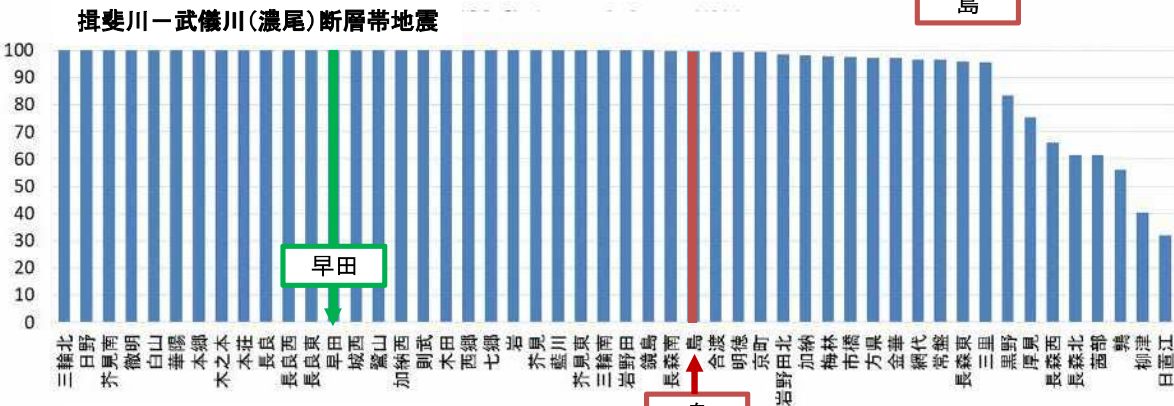
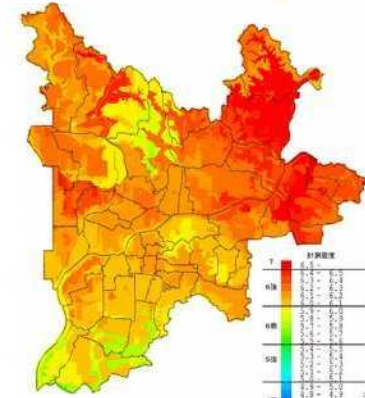


- 南海トラフの場合は4割の人口が震度6強以上であるのに対して、揖斐川-武儀川(濃尾)断層帯地震では、9割の人口が震度6強以上となる

地震動の違いによる地区別の特徴

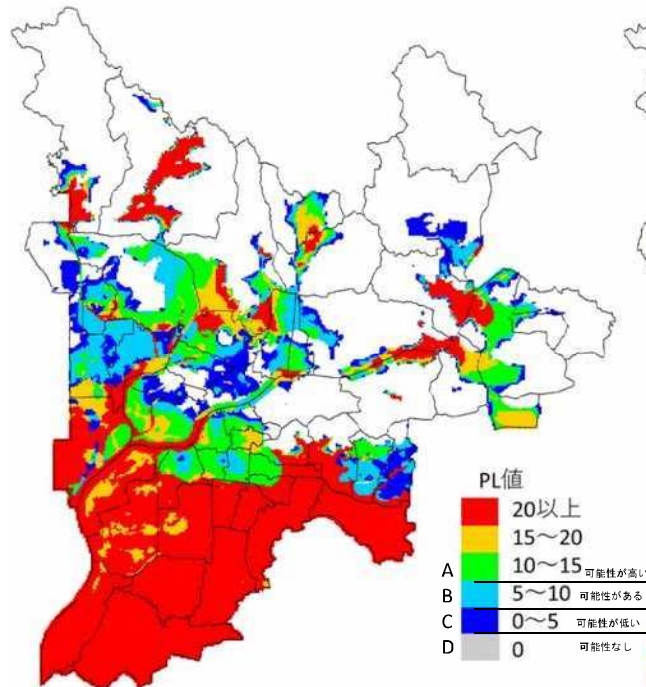


地区の人口に対する震度6強以上になる人口割合を表した。
 想定地震動が異なると、影響を受ける地区も変化する。
 南海トラフでは限られた地区に影響があるが、揖斐川-武儀川断層帯地震ではほとんどの地区で影響が大きい
 養老-桑名-四日市断層帯では、南海トラフで影響が小さかった地区でも大きく影響する地区がある

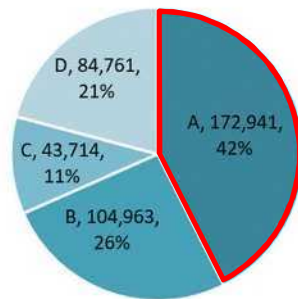


液状化危険度の比較

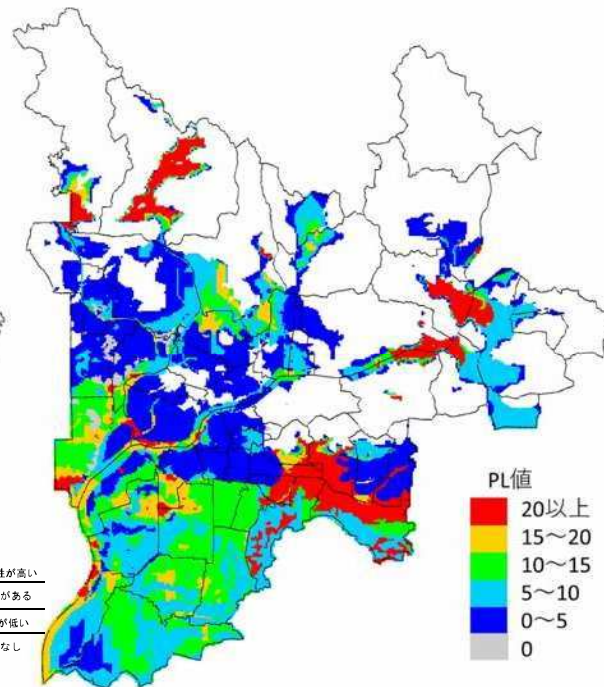
南海トラフの巨大地震



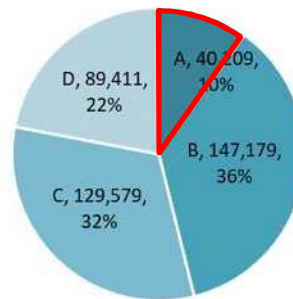
液状化危険度別の夜間人口の割合



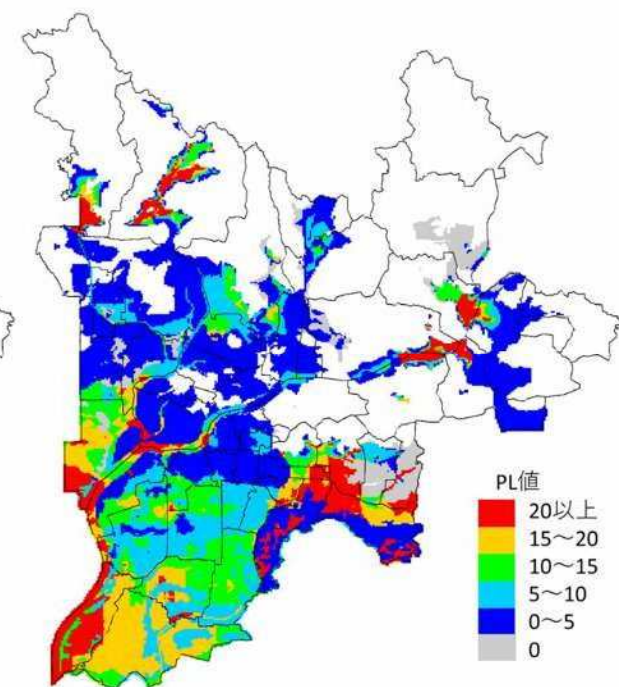
揖斐川－武儀川(濃尾)断層帯地震



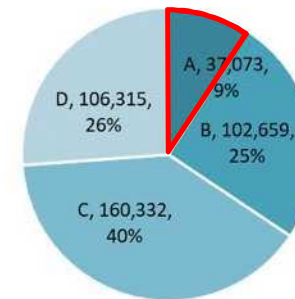
液状化危険度別の夜間人口の割合



養老－桑名－四日市断層帯地震



液状化危険度別の夜間人口の割合



- 南海トラフの場合は危険度A～Cとなる人口は、8割である。
- 揖斐川－武儀川(濃尾)断層帯地震でも、危険度A～Cとなる人口は8割であるが、最も危険度の高い危険度Aとなる人口が少ない
- 養老－桑名－四日市断層帯地震が人口に対する液状化の影響が最も小さい

被害額

【被害額の項目】

調査対象は、直接的な被害額を算定した。
定量的な評価ができる項目とし、現在価値ではなく、復旧・再建に要する費用を被害額とした。

算定対象項目

対象項目		適用	
建物被害	建物	1棟あたり工事必要金額	
	資産	家庭用品	1世帯あたりの評価額
		償却資産	償却資産評価額
		在庫資産	在庫資産評価額
電気	停電1戸あたり復旧額		
通信	不通1戸あたり復旧額		
鉄道	東日本大震災の在来線被害額		
上水道	断水人口あたりの復旧額		
下水道	1Kmあたり下水道管復旧額		
道路	東日本大震災の地方自治体管理道被害額		
その他公共土木施設	一般資産被害額に対する比率		
災害廃棄物	阪神・淡路大震災の額		

【被害額】

被害額は、揖斐川-武儀川断層帯地震が最も多く、南海トラフと養老-桑名-四日市断層帯地震は同程度となっている。

被害額の差は、建物被害によるところが大きく、その他の項目では、地震動によらず同程度の被害額となっている。

地震ごとの被害額

	南海トラフ	養老-桑名-四日市	揖斐川-武儀川
建物・資産	10,536	11,054	15,654
電気	148	149	152
通信	106	106	108
鉄道	14	14	15
上水道	70	71	73
下水道	609	601	755
道路	55	56	63
その他公共土木	74	77	110
災害廃棄物処理	503	556	798
合計(億円)	12,114	12,684	17,725